

代替材料を「使いこなす」

— 材料代替を実装につなぐテクノロジー —

資源制約、環境負荷低減、経済安全保障等の重要性の高まりにより、さまざまな産業分野で「代替材料」への関心が高まっています。新材料を実製品に採用するためには、材料の新規な機能性に加えて、精緻なメカニズム理解、プロセスの環境負荷、信頼性、コストまでを多面的に考えることが重要です。本交流会では、ナノ材料から流体・バルク材料に至るまで、代替技術にまつわる大学の先端研究と企業の現場課題を持ち寄ります。異なる分野の技術や事例を横断的に共有し、材料開発から製品実装へつながる接点・ヒントを見出すことで、新たな連携とイノベーションの創出を試みます。

2026. 7. 17 Fri.

13:30-17:15

TOKYO

- ・開催方法 対面
- ・定員 70 名 (定員に達し次第㍻切)
- ・場所 東京 日本橋
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 3-2-1 日本橋室町三井タワー 7 階
GLOBAL LIFESCIENCE HUB カンファレンスルーム
- ・参加費 13:30-17:15 技術交流会：無料
17:30-19:30 意見交換会：会費制 (5000 円／当日受付にて現金支払)
- ・対象者 産業界で研究開発に携わる方、アカデミア研究者、学生、関心のある方
- ・主催 東北大学 産学連携先端材料研究開発センター (MaSC)
- ・共催 東北大学 オープンイノベーション事業戦略機構
東北大学 研究推進・支援機構 リサーチ・マネジメントセンター

申込方法：下記よりお申込み下さい【7/14㍻】

<https://forms.gle/Gp27VsEUXnDaAPP37>

